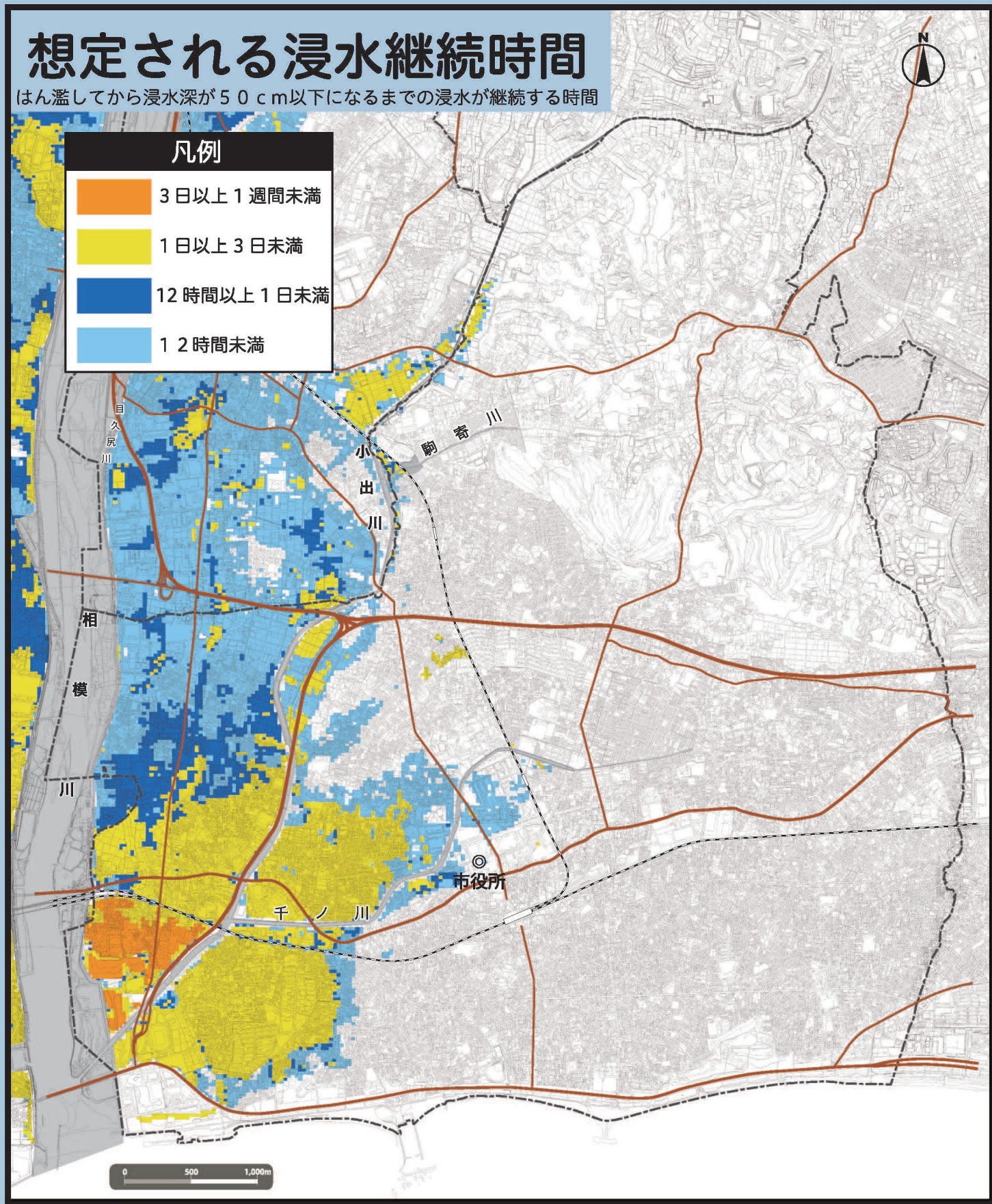
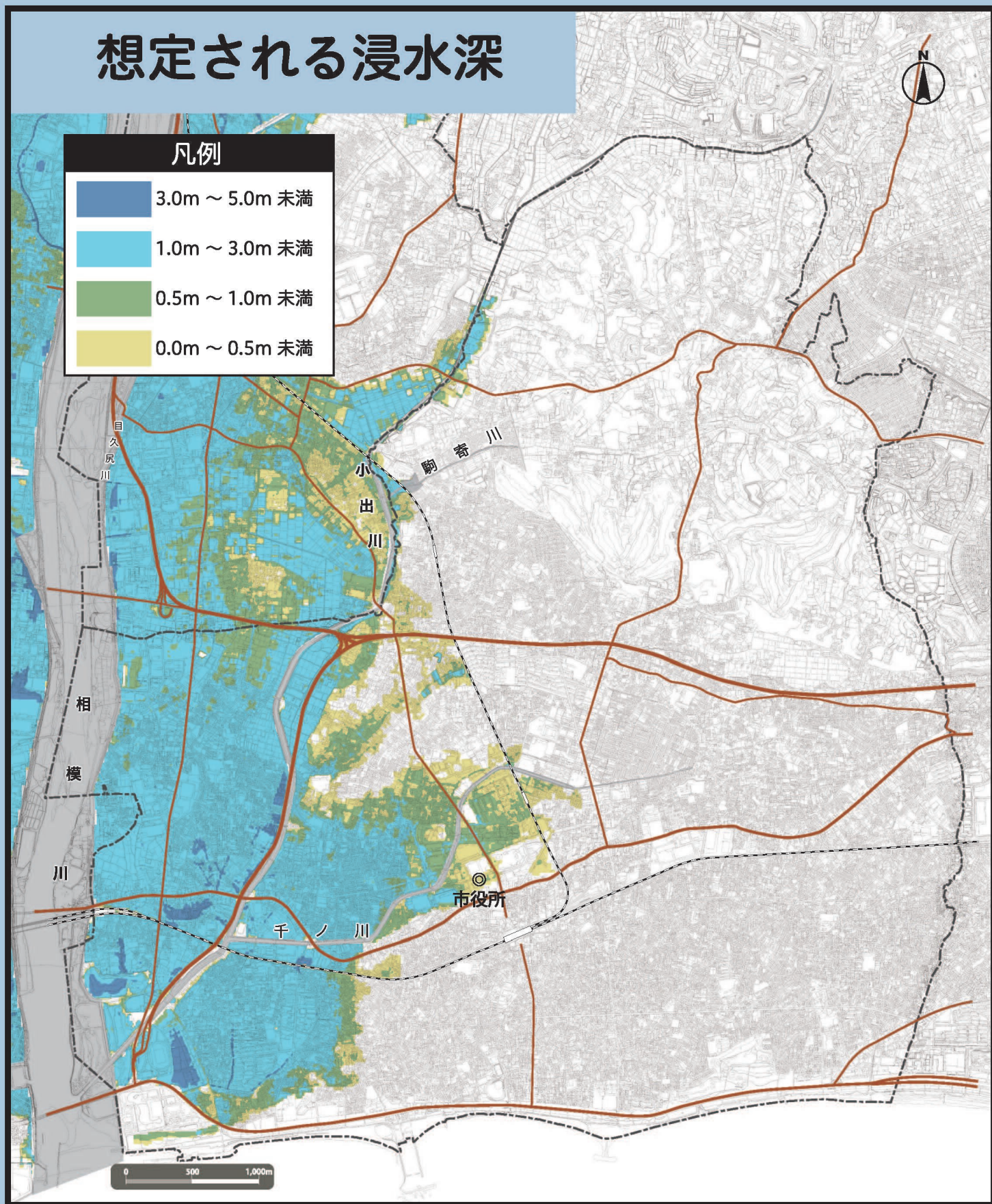


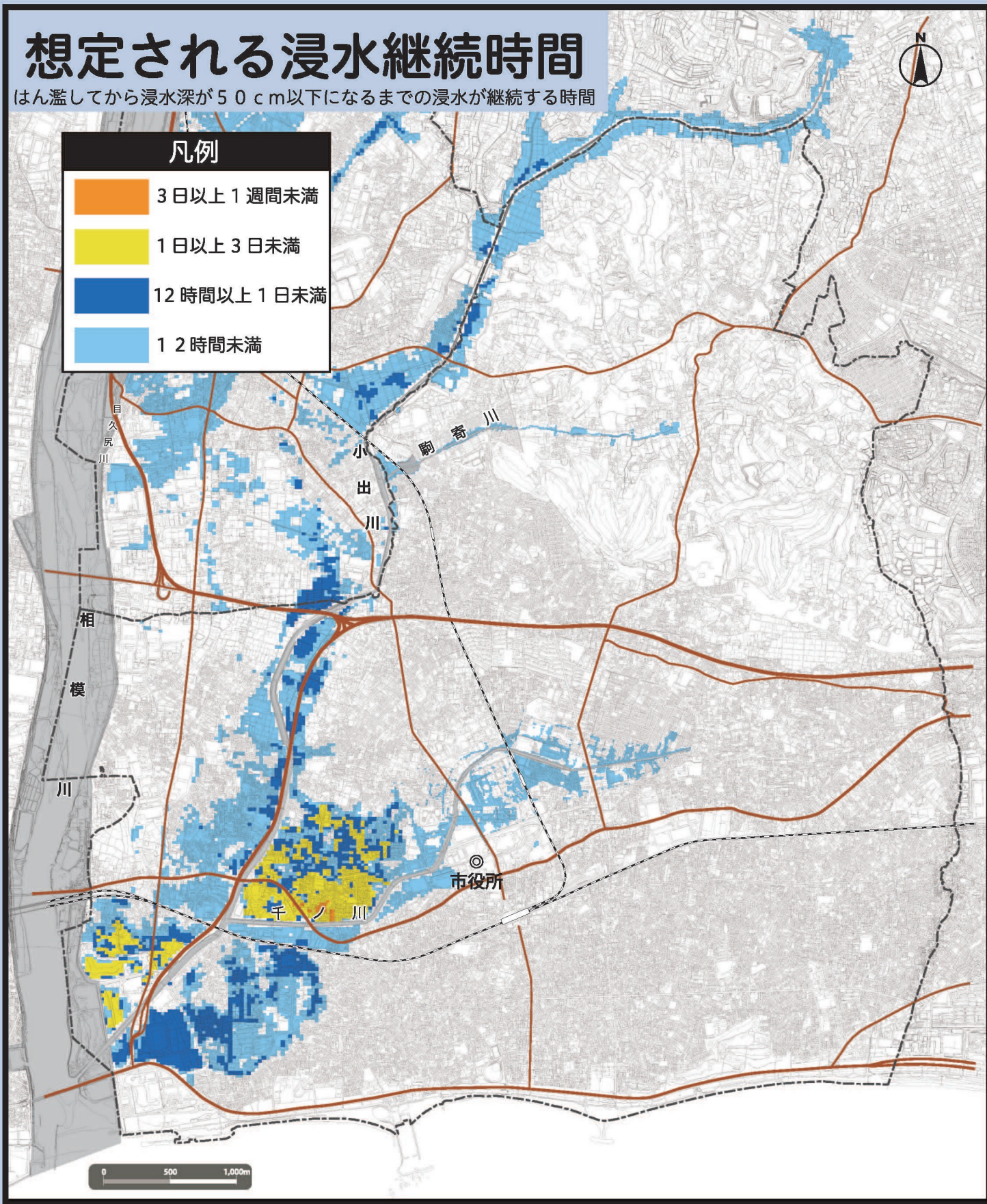
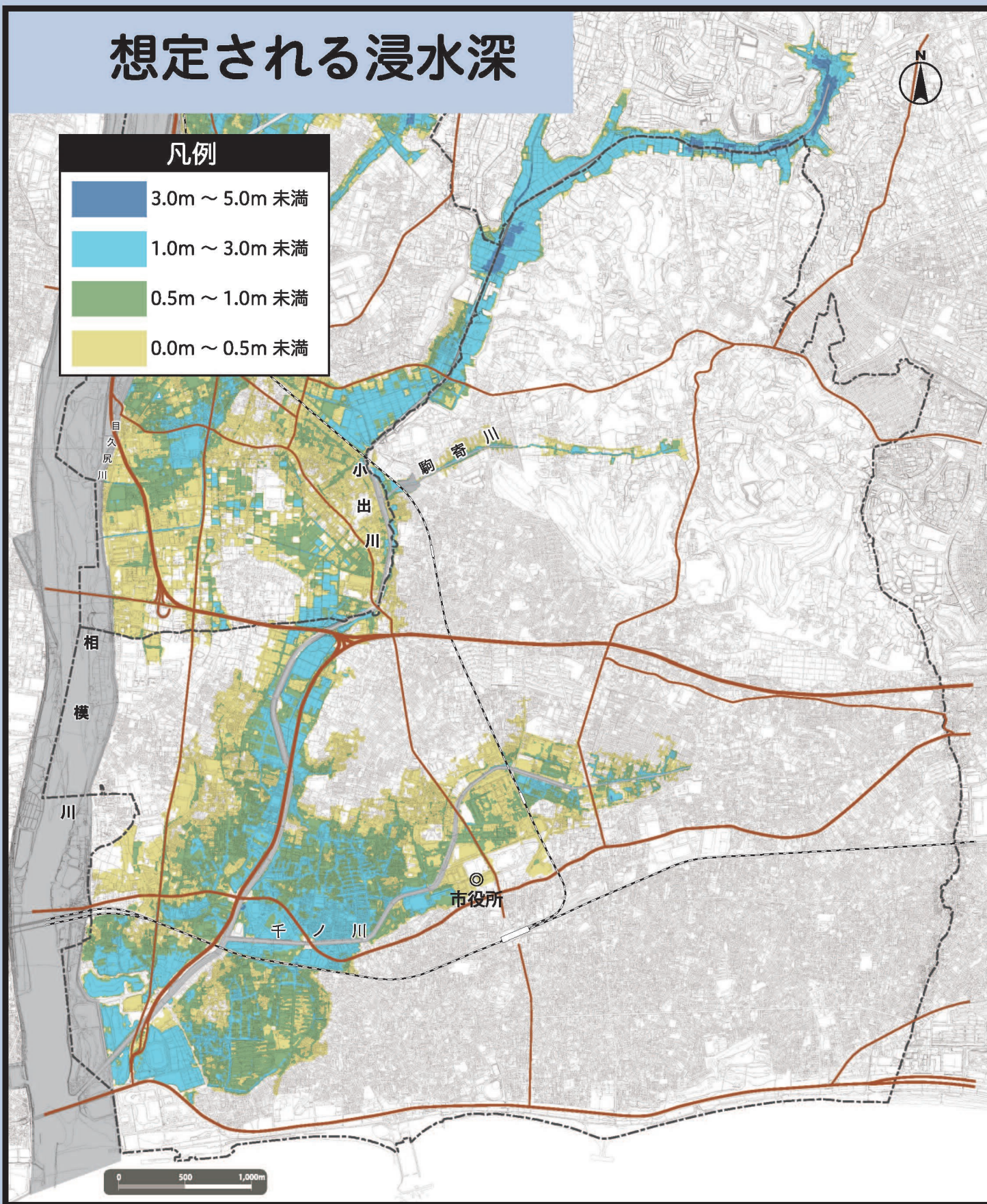
各河川の浸水想定図は参考資料です。
反対面の「洪水・土砂災害ハザードマップ」で自分の家や職場などの危険を確認し、危険がある場合は「かんたんマイ・タイムライン」をつくりましょう。

【参考】相模川の浸水想定図



これらの浸水想定図は、反対面の「洪水・土砂災害ハザードマップ」の下に表した各河川の図等の想定浸水を示したものです。
河川管理者：相模川（国）、小出川、千ノ川（県、市）、目久尻川（県）、駒寄川（市）
本ハザードマップに記載している浸水想定区域等は区域等の境界を精緻に表示するものではなく、概略の位置を示した参考図であることに留意してください。

【参考】小出川・千ノ川・駒寄川・目久尻川の浸水想定図



雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	イメージ	外の様子
10～20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面一面に水たまり
20～30	強い雨	どしゃ降り	道路が川のように
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	
50～80	非常に激しい雨	ゴーゴーと降り続く	白っぽく、視界が悪い
80～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感	

※イラストは気象庁提供

内水ハザードマップは茅ヶ崎市を対象として作成しています。
市外は必要に応じて各市町のハザードマップ等でご確認ください。

ないすい

茅ヶ崎市内水ハザードマップ

このハザードマップは、大雨で下水道や側溝から水があふれる内水氾濫の危険性を示したものです

内水ハザードマップの使い方

- ①水があふれやすい場所を確認し、別冊の『あなたと大切な人の命を守るガイドBOOK』の11ページで対策を確認する。
- ②大雨の時は水があふれやすい場所に近づかない。また、家への浸水対策などをする。
- ③避難するときは、内水氾濫の危険がある場所は避ける。

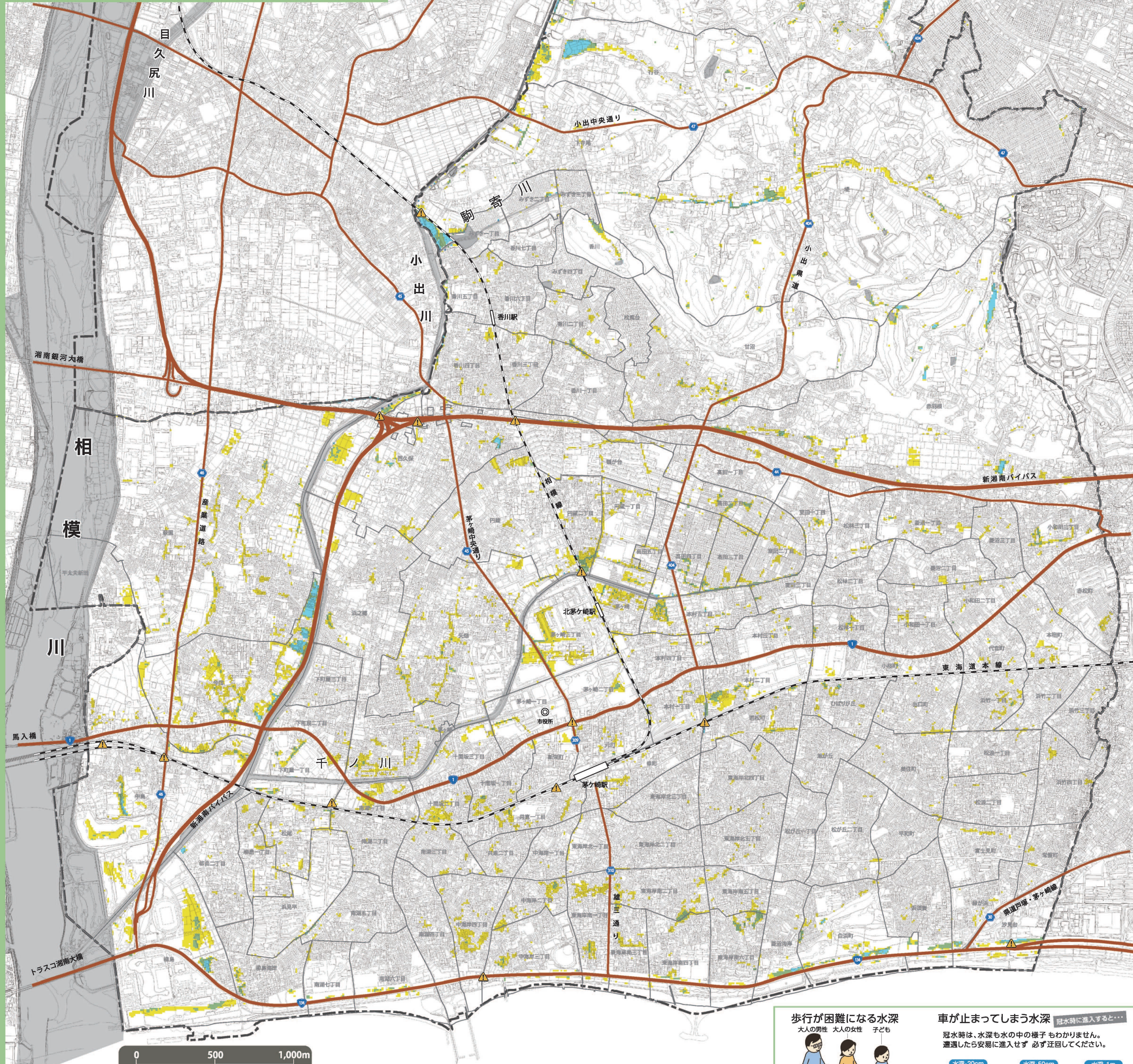
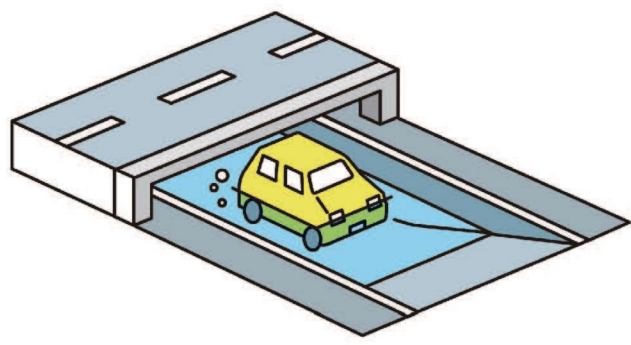
このハザードマップは、1時間あたり81mmを想定雨量としていますが、少ない雨量でも、内水氾濫が起こったり、このハザードマップに示されていない内水氾濫が起こる可能性があるため、注意してください。

凡例

内水氾濫に関する情報

- 浸水深
(浸水した場合に予測される水深)
- 3.0m～5.0m 未満
 - 1.0m～3.0m 未満
 - 0.5m～1.0m 未満
 - 0.5m 未満
(内水の浸水深0.2m以上～0.5m未満)

危険箇所（地下道）



このハザードマップにおいて内水氾濫は、令和2年度茅ヶ崎市調査による浸水想定（1時間雨量81mm）を表示したものです。
・千ノ川の表記について、神奈川県内の浸水想定区域図は「千の川」となっていますが、茅ヶ崎市の都市計画図にあわせ、全て「千ノ川」に表記を統一しています。
・本ハザードマップに記載している浸水想定区域等は区域等の境界を精緻に表示するものではなく、概略の位置を示した参考図であることに留意してください。

歩行が困難になる水深

大人の男性 大人の女性 子ども

70cm 60cm 50cm

車が止まってしまう水深

冠水時は、水深も水の中の様子もわかりません。避難したら安否に進入せず 必ず迂回してください。

水深 20cm 水深 50cm 水深 1m